

「目指す人財像」

UBEグループのすべての社員は以下の人財になることを共に目指します。

- (1) 自ら稼ぎ付加価値を生むビジネスパーソン
- (2) 情熱・スピード感・変革マインドを持つ挑戦者
- (3) 学び続けて自分の強みを磨く探究者
- (4) 多様な仲間を尊重・称賛し合うチームUBEのメンバー

冒頭文

UBEは、「技術の探求と革新の心で、未来につながる価値を創出し、社会の発展に貢献します」という経営理念に基づき、以下の通りパーパス（存在意義）を定めて全てのステークホルダーと共有しています。

パーパス（存在意義）

「創業以来の歴史の中で培ってきたモノづくりの技術を活かし、社会に必要とされている価値を、社会が求める安全で環境負荷の少ない方法で創り出し、人々に提供していくこと。これにより、人類共通の課題となった地球環境問題の解決に、また人々の生命・健康、そして未来へとつながる豊かな社会に貢献すること。」

また2030年の目指す姿としては、「地球環境と人々の健康、そして豊かな未来社会に貢献するスペシャリティ化学を中核とする企業グループ」を掲げています。

このたび、UBEグループの変革推進を目的に、「求める人材像」を、社員一人ひとりに辿り着いてもらいたい「目指す人財像」へとアップデートします。

なおUBEグループ「私達の行動指針」遵守に関しては、従前からの変更はありません。
(次葉に続く)

(1) 自ら稼ぎ付加価値を生むビジネスパーソン

⇒広い視野を持って常にマーケットを注視し、取引先・顧客といった全てのステークホルダーとの連携と共創により、価値と利益を追求します。

直接部門のみならず管理間接部門の社員も等しく、他の誰かではなく自分が利益を生み出す／付加価値を最大化するというビジネスマインドを持ち、貪欲・ハングリーに成果を追及することを目指します。

(2) 情熱・スピード感・変革マインドを持つ挑戦者

⇒組織として成果を出すためには、一人ひとりが担当業務に対し情熱を持って高い品質で完遂する（やりきる）必要があります。また試行錯誤からの学びを互いに共有し、スピードアップを追求しながら、グローバルな視野と変革の意識を持って飽くなき挑戦を続けることが重要です。

一方、従来のやり方に固執することなく、常に担当業務の意義・本質を十分に確認し、こだわるべきポイントを見極め、必要に応じて業務や目標の見直しを行うことも重要です。

(3) 学び続けて自分の強みを磨く探究者

⇒自分のキャリアは自分で構想する（キャリアオーナーシップ）ことを基本とします。そして構想したキャリアを実現し、また将来の変化に対応出来るよう、社員全員が「学び続ける力」を持ち、自らの強みを磨くことで更なる高みを目指します。

会社としても、社員のこういった取組みを支援する施策を検討・実施していきます。

(4) 多様な仲間を尊重・称賛し合うチームUBEのメンバー

⇒あらゆる職場・関係性において、互いの多様な個性を尊重し仲間として称賛し合うことで前向きに業務に取り組める良好な信頼関係（心理的安全性）を構築することを目指します。

なお「良好な信頼関係」とは、事なかれ主義や内向き志向を意味しません。言うべきことについては忖度することなく、自由闊達な意見交換・コミュニケーションを行って、社員一人ひとりが役割を果たし、チーム力を最大化して生産性を上げることを目的とします。